

第3回 薬薬連携の会開催報告書

日時：平成28年11月22日（木）18：30～19：30

場所：日本医科大学武蔵小杉病院南館講堂

参加者数：計43名

- ：日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部…16名
- ：薬樹薬局小杉…2名
- ：アイランド薬局小杉店…8名
- ：コクミン薬局武蔵小杉店…7名
- ：フレンド薬局…2名
- ：フロンティア薬局武蔵小杉店…3名
- ：ミキ薬局武蔵小杉店…2名
- ：南山堂薬局武蔵小杉店…1名
- ：つる薬局元住吉店…1名
- ：中原区薬剤師会…1名

講演：「肺がんの薬物療法について」

演者：日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部 宮田広樹先生

司会：日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部 野口周作先生

閉会挨拶：日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部 笠原英城先生

講演後、講演についての質問があった。

- ・イレッサ®+PPIの処方を受けることがある。疑義照会必要か？
→疑義照会必要。
- ・イリノテカン副作用の下痢対策に整腸剤やヨーグルトといった摂取は？
→下痢発生の機構からは、下痢対策に整腸剤やヨーグルトの摂取は対策にはならない。
→整腸剤・ヨーグルトの摂取の促しはするべきではない。
→受診のタイミングを失わないような指導が大切。
- ・デノタス®の処方があるが、お薬手帳にランマーク®投与の記載がない。
→貼り忘れている。
- ・保険薬局から病院へフィードバックして欲しいこととは？その方法は？
→どういった指導をしているか。
→副作用発現の情報。
→相談内容。
→お薬手帳を使って情報共有ができないか。
→お薬手帳以外での連携・情報交換の方法はないか。

会終了後、意見交換会を行った。

意見交換会出席者：15名